

# もくじ

もくじ .....	1
はじめに .....	2
<b>1 Windowsのセットアップ .....</b>	<b>5</b>
<b>2 使い終わったら .....</b>	<b>13</b>
<b>1 スリープにする .....</b>	<b>14</b>
<b>2 電源を切る .....</b>	<b>17</b>
<b>3 省電力機能について .....</b>	<b>19</b>
<b>1 省電力機能について .....</b>	<b>19</b>
<b>2 省電力モードについて .....</b>	<b>19</b>
<b>3 省電力モードへの移行 .....</b>	<b>21</b>
<b>4 省電力モードからの復帰 .....</b>	<b>24</b>
<b>4 Windows Vistaモデルを使用するにあたって .....</b>	<b>25</b>
<b>1 Windows Vistaでの操作について .....</b>	<b>25</b>
<b>2 本製品のアプリケーションについて .....</b>	<b>27</b>
<b>3 製品仕様について .....</b>	<b>27</b>
<b>5 リカバリをする .....</b>	<b>28</b>
<b>1 リカバリをする .....</b>	<b>28</b>
<b>2 システム回復オプションについて .....</b>	<b>33</b>
<b>3 Windowsセットアップの後は .....</b>	<b>36</b>
<b>6 ハードディスクの内容の消去 .....</b>	<b>37</b>
<b>7 BIOSセットアップについて .....</b>	<b>40</b>
<b>1 EQUIUM S6300シリーズについて .....</b>	<b>40</b>
<b>2 EQUIUM 3410シリーズについて .....</b>	<b>41</b>

# はじめに

このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本書は、Windows Vistaのセットアップ方法と、Windows XPモデルから変更となったおもな操作や機能などについて説明しています。パソコン本体の機能説明や取り扱い方法については、付属の『取扱説明書』をお読みになり、操作を行ってください。

また、本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。

必ずお読みになり、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

## 1 記号の意味

<b>お願い</b>	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
 <b>メモ</b>	知っていると便利な内容を示します。
 <b>参照</b>	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合…「」 他のマニュアルへの参照の場合…『』

## 2 用語について

本書では、次のように定義します。

### システム

特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。

### アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

### Windows Vista

Windows Vista® Businessを示します。

### Office 搭載モデル

Microsoft® Office Personal 2007がプレインストールされているモデルを示します。

### 3 記載について

- ご購入のシリーズによって搭載されているコネクタや拡張スロットなどは異なります。詳細については『取扱説明書』をご覧になり、ご購入のシリーズに該当する部分をお読みください。
- 記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「\*\*\*\*\*モデルの場合」や「\*\*\*\*\*シリーズのみ」などのように注記します。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは付属のCDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書に記載している画面は、表示例です。実際に表示される画面と異なる場合があります。

### 4 Trademarks

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Aeroは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

### 5 プロセッサ (CPU) に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ (CPU) の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- 周辺機器を接続して本製品を使用する場合
- 複雑な造形に使用するソフト（例えば、運用に高性能コンピュータが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト）を本製品上で使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPUの処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。

また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。

これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。

この他の使用制限事項につきましては各種説明書をお読みください。また、詳細な情報については東芝PCあんしんサポート0120-97-1048にお問い合わせください。

## 6 使い終わったとき

パソコンを使い終わったとき、電源を完全に切る方法のほかに、それまでの作業をメモリに保存して一時的に中断する方法があります。この機能を、「スリープ」と呼びます。

スリープ機能は、次に電源スイッチを押したときに素早く中断したときの状態を再現することができます。

なお長時間使用しないときや、付属の説明書で電源を切る手順が記載されている場合（増設メモリの取り付け／取りはずし、拡張カードの取り付け／取りはずしなど）は、スリープではなく、必ず電源を切ってください。

参照 ➔ スリープ／電源を切る「**2 使い終わったら**」

## 7 お願い

- 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属のCDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- Windows標準のシステムツールまたは本書に記載している手順以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 搭載メモリが512MBのモデルの場合、Windows Aero機能は動作しません。Windows Aero機能を使用するにはメモリを増設してください。メモリを増設するときは、必ず本製品のオプションをお買い求めください。

初めて電源を入れたときは、Windowsのセットアップを行います。

Windowsのセットアップは、パソコンを使えるようにするために必要な操作です。

セットアップには約15分かかります。

作業を始める前に、付属の冊子『安心してお使いいただくために』と『取扱説明書』を必ず読んでください。

### お願い

### セットアップをするときの注意

- マウスとキーボードが接続されていることを確認してください。接続していないと、セットアップを行うことができません。
- 増設メモリや拡張カード類を取り付けたり、プリンタを接続するなどの機器の拡張を行っていると、正しくセットアップできない場合があります。ディスプレイ、マウス、キーボード以外の周辺機器の取り付けや接続はシステムのセットアップ終了後に行ってください。
- セットアップを行うときは、LANケーブルは接続しないでください。LANケーブルが接続されていると、ネットワークの設定が既定値（default）のままネットワークに接続してしまうため、ネットワークに障害をもたらす場合があります。
- システムのセットアップ中は、絶対に電源を切らないでください。
- やむをえない場合以外は、セットアップ中にキャンセルしないでください。正しくセットアップできない場合があります。
- ケーブル類が確実に接続されていることを、もう1度確認してください。
- セットアップを行わないと、あらかじめインストールされているシステム（Windows Vista）やアプリケーションを使用することはできません。

### メモ

- 15分以上キーを押さない（マウスの操作も含む）場合、省電力機能がはたらき、スリープになります。スリープでは画面に表示される内容が見えなくなり、電源ランプが緑色に点滅します。電源スイッチを短く押すと画面に表示されます（4秒以上電源スイッチを押し続けると、電源が切れますので、短く押してください）。

#### 参照 ➔ スリープ「3 省電力機能について」

- リカバリをした場合にも、「Windows セットアップ」の作業が必要です。

## 操作手順

『取扱説明書』の手順に従って必要な機器（マウス、キーボード、ディスプレイなど）を接続して、電源を入れてください。

パソコンが起動したら、[Windowsのセットアップ] 画面が表示されます。



- [Windowsのセットアップ] 画面が表示されるまで、しばらく時間がかかりますが、この間に電源を切らないようにしてください。

1

[国または地域] 欄に「日本」と表示されていることを確認し、[次へ] ボタンをクリックする



[ライセンス条項をお読みになってください] 画面が表示されます。

2

ライセンス条項の内容を確認し、[ライセンス条項に同意します] の左にある  をクリックする

### ライセンス条項に同意

ライセンス条項に同意しないと、セットアップを続行することはできず、Windows を使用することはできません。

表示されている条項文の続きを表示するには、画面の右側にある  ボタンをクリックします。

をクリックすると  になります。

3

[次へ] ボタンをクリックする

[ユーザー名と画像の選択] 画面が表示されます。

## ユーザの名前を入力する

Windows Vistaでは、複数のユーザが1台のパソコンを別々に使用することができます。

そのとき、使用するユーザによって違う環境でWindowsを起動できるので、Windows起動時にどのユーザが使用するのかを識別する必要があります。そのためには、複数のユーザが使用する場合は、ユーザそれぞれを区別するための名前を登録します。

次の手順で入力するユーザ名は、管理者ユーザを登録するためのものです。

管理者ユーザとは、複数のユーザでパソコンを使用する場合、全体を管理して他のユーザの使用制限を設定したりできるユーザです。

## 4 ユーザの名前を入力する

【ユーザー名を入力してください】と書いてある下の欄に、管理者ユーザの名前を入力してください。



「toshiba」と入力するときは、キーボードで **T O S H I B A** と押します。

### ■キーを押しても表示されないときは

キーを押しても文字が表示されない場合は、入力欄に「|」が点滅しながら表示されていることを確認してください。「|」はカーソルといい、表示されている位置から文字などを入力できます。表示されていないときは、【ユーザー名を入力してください】の下の欄をクリックしてください。

### ■入力を間違えたときは

- カーソルの左側の文字を削除する ..... **Backspace** キー
  - カーソルの右側の文字を削除する ..... **Delete** キー
- カーソルを左右に動かすには、**←** キーまたは **→** キーを押します。

他のユーザは、後で登録できます。

## パスワードを入力する

## 5 パスワードを入力する

[パスワードを入力してください] と書いてある下の欄に、Windowsログオンパスワードとして設定したい文字を入力してください。

Windowsログオンパスワードは半角英数字で127文字まで設定できますが、8文字以上で設定することを推奨します。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。Windowsログオンパスワードを入力しないでそのまま次の画面へ進むこともできますが、セキュリティ上、設定することを強くおすすめします。



入力した文字は「●●●●●」で表示されるため、画面を見て確認することはできません。入力し間違えても画面ではわからないので、気をつけて入力してください。Windowsログオンパスワードを入力すると、すぐ下に [パスワードをもう一度入力してください] という入力欄が表示されます。

## 6 パスワードをもう1度入力する

[パスワードをもう一度入力してください] と書いてある下の欄に、手順 5 で入力したWindowsログオンパスワードを、もう一度入力してください。



## ▶ パスワードのヒントを入力する

設定したWindowsログオンパスワードを忘れてしまったときのために、ヒントを入力しておいて、パスワード入力画面で表示させることができます。

## 7 必要な場合はパスワードのヒントを入力する

それを読めば、自分だけはパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。パスワードのヒントは入力を省略することもできます。  
その場合は、何も入力しないで手順 8 に進んでください。

## ▶ ユーザの画像を選択する

どのユーザであるのかを示すために、ユーザ名の他に画像を登録することもできます。

## 8 使いたい画像をクリックする

画面下部の画像群から、使いたい画像をクリックしてください。

## 9 [次へ] ボタンをクリックする

[コンピュータ名を入力して、デスクトップの背景を選択してください。] 画面が表示されます。

## ▶ コンピュータの名前を入力する

コンピュータに名前をつけるのは、使用するパソコンを他のパソコンと区別するためです。ネットワークに接続する場合は、必ず設定してください。

## 10 コンピュータの名前を入力する

[コンピュータ名を入力してください] と書いてある下の欄に、半角英数字で任意の文字列を入力してください。半角英数字以外は使用しないでください。またこのとき、同じネットワークに接続するコンピュータとは別の名前にしてください。

## ▶ 背景画像を選択する

パソコンの画面（デスクトップといいます）の背景を設定します。

## 11 使いたい画像をクリックする

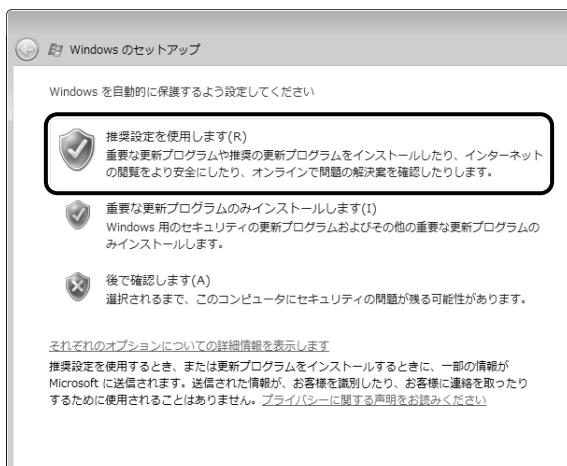
画面下部の画像群から、使いたい画像をクリックしてください。  
クリックすると、選択した画像が実際の背景に表示されます。

## 12 [次へ] ボタンをクリックする

[Windowsを自動的に保護するよう設定してください] 画面が表示されます。

コンピュータの保護の設定をする

## 13 [推奨設定を使用します] をクリックする



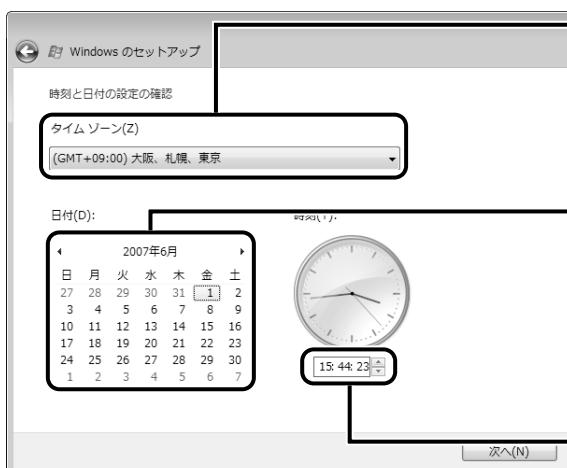
[時刻と日付の設定の確認] 画面が表示されます。

## 時刻と日付を確認する

コンピュータの内蔵時計の時刻と日付が合っているかどうか、確認します。

## 14 時刻と日付を確認する

合っていない場合は、正しい内容に設定してください。



[タイムゾーン] は、欄の右にある ▼ をクリックして、表示された地名から「大阪、札幌、東京」をクリックしてください。

年・月の左右にある ◀ または ▶ をクリックすると、月ごとに順に表示が切り替わります。  
年・月を合わせてから、下の該当する日をクリックしてください。

時刻表示の右にある ▲ または ▼ をクリックすると、順に数字が切り替わります。  
変更したい時／分／秒をクリックしてから ▲ または ▼ をクリックしてください。



## メモ

- 時刻と日付はWindowsセットアップ終了後に設定することもできます。
- 時刻と日付が合っていないと、本製品に用意されているウイルスチェックソフトなどの使用期限のあるアプリケーションでは、アプリケーションの設定後から適用される使用期限などが、正しく計測されないことがあります。そのため、この時点で、時刻と日付が合っていることを必ず確認してください。

参照▶ [日付と時刻の設定 『Windowsヘルプとサポート』](#)

15

## [次へ] ボタンをクリックする

[ありがとうございます] 画面が表示されます。

16

## [開始] ボタンをクリックする

セットアップ完了

Windowsセットアップが終了すると、コンピュータのパフォーマンスを確認する画面が表示されます。

画面下部に [しばらくお待ちください。] と表示されている間は、何も操作しないでお待ちください。

パフォーマンスの確認が終了すると、Windowsログオンパスワードを入力する画面が表示されます。

手順 5 で入力したパスワードを入力し、[Enter] キーを押してください。

Windowsが起動し、「ただいまインストール中です。しばらくおまちください。」というメッセージ画面が表示されます。

その後、パソコンの電源が切れ、しばらくすると自動的に電源が入ります。

Windowsログオンパスワードを入力する画面が表示されるので、手順 5 で入力したパスワードを入力し、[Enter] キーを押してください。

[ようこそ] 画面が表示されます。



## メモ

- ヘッドホンや外部スピーカなどを接続して本製品のサウンドを出力している場合、パソコンを起動するときに流れるWindowsの起動音がまれに途切れる場合がありますが、故障ではありません。

## ■ 日付と時刻の確認

時刻は、画面右下の【通知領域】に表示されています。日付は、時刻表示部分にポインタを合わせると表示されます。正しく設定されているかどうか確認してください。



正しく設定されていない場合は、『Windowsヘルプとサポート』を確認して設定してください。

## ■ Windows Vistaでわからない操作があったとき

Windows Vistaの使いかたについては、[スタート] ボタン ( ) → [ヘルプとサポート] をクリックして、『Windowsヘルプとサポート』を参照してください。

Windows Vistaの最新情報やアップデートの情報は次のホームページから確認できます。

- Windows Vistaについて

URL : <http://www.microsoft.com/japan/windowsvista/>

- Windows Vistaのアップデート

URL : <http://windowsupdate.microsoft.com/>

パソコンを使い終わったとき、電源を完全に切る方法のほかに、それまでの作業をメモリに保存して一時的に中断する方法があります。この機能を、「スリープ」と呼びます。

スリープ機能は、次に電源スイッチを押したときに素早く中断したときの状態を再現することができます。

なお長時間使用しないときや、付属の説明書で電源を切る手順が記載されている場合（増設メモリの取り付け／取りはずし、拡張カードの取り付け／取りはずしなど）は、スリープではなく、必ず電源を切ってください。

また、パソコンの使用を中断するには、「スリープ」のほかに「休止状態」があります。

**参照** スリープ、休止状態 「3 省電力機能について」

### お願い

### 操作にあたって

#### 中断する前に

- スリープまたは休止状態を実行する前にデータを保存することを推奨します。
  - スリープまたは休止状態を実行するときは、メディアへの書き込みが完全に終了していることを確認してください。
- 書き込み途中のデータがある状態でスリープまたは休止状態を実行したとき、データが正しく書き込まれないことがあります。メディアを取り出しできる状態になっていれば書き込みは終了しています。
- スリープ中に停電などによって不意に電源が切断された場合、メモリに保存してあったそれまでの作業が失われます。スリープを実行する前に作業中のデータを保存するかハイブリッドスリープを有効にしてください。

#### 中断したときは

- スリープ中にメモリの取り付け／取りはずしを行わないでください。次回電源を入れたときに、システムが起動しないことがあります。
- スリープ中や休止状態では、増設メモリの取り付け／取りはずし、拡張カードの取り付け／取りはずしは行わないでください。保存されていないデータは消失します。また、感電、故障のおそれがあります。
- スリープまたは休止状態を利用しないときは、データを保存し、アプリケーションをすべて終了させてから、電源を切ってください。保存されていないデータは消失します。

## 1 スリープにする

パソコンの使用を中断する場合は、パソコンを「スリープ」にしましょう。

スリープには、通常のスリープの他に「ハイブリッドスリープ」という機能もあります。作業を中断している間に、停電などによって不意に電源が切断された場合は、通常のスリープでは保存されていないデータは消失します。ハイブリッドスリープを有効にすると、データが保持されます。

参照 ハイブリッドスリープ「本項 2 スリープ機能を強化する」

### 1 スリープの実行方法

#### 1 [スタート] ボタンをクリックする



#### 2 [電源] ボタンをクリックする



### 2 スリープ機能を強化する

Windows Vistaには、通常のスリープの他に「ハイブリッドスリープ」という機能が用意されています。

パソコンの使用を中断したとき、それまでの作業をメモリに保存するスリープに対して、ハイブリッドスリープはメモリとハードディスクの両方に保存します。

作業を中断している間に、停電などによって不意に電源が切断された場合は、通常のスリープでは保存されていないデータは消失します。ハイブリッドスリープを有効にしておくと、ハードディスクから作業内容を復元できます。

ハイブリッドスリープを有効にしている状態でスリープを実行すると、ハイブリッドスリープとして機能します。

ハイブリッドスリープを有効にするには、次の手順で設定してください。

#### 1 [スタート] ボタン ( ) → [コントロールパネル] → [システムとメンテナンス] をクリックする

## 2 [電源オプション] をクリックする



## 3 選択している電源プランの [プラン設定の変更] をクリックする

[プラン設定の変更] は、各電源プランの下に表示されています。選択している電源プランの下に表示されている [プラン設定の変更] をクリックしてください。



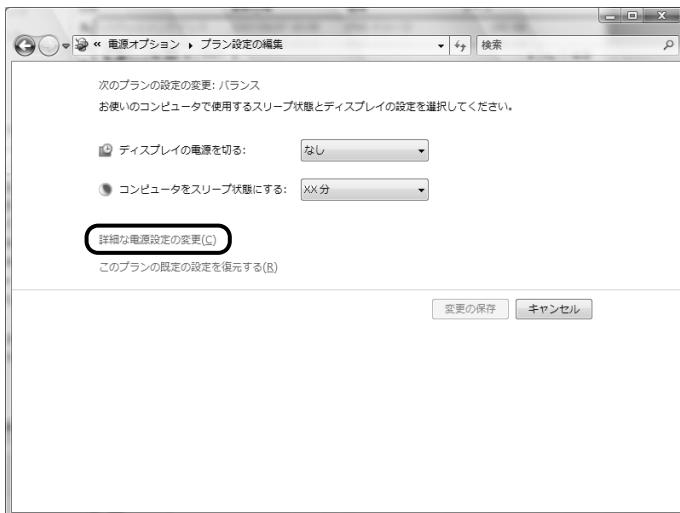
ハイブリッドスリープの設定は、電源プランごとに必要です。  
[プラン設定の編集] 画面が表示されます。

2

使い終わったら

4

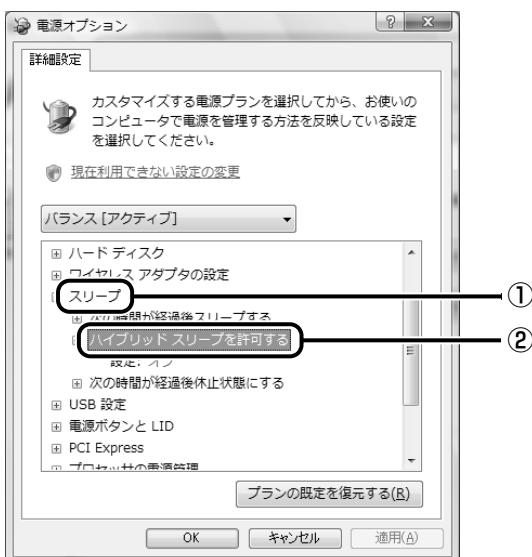
## [詳細な電源設定の変更] をクリックする



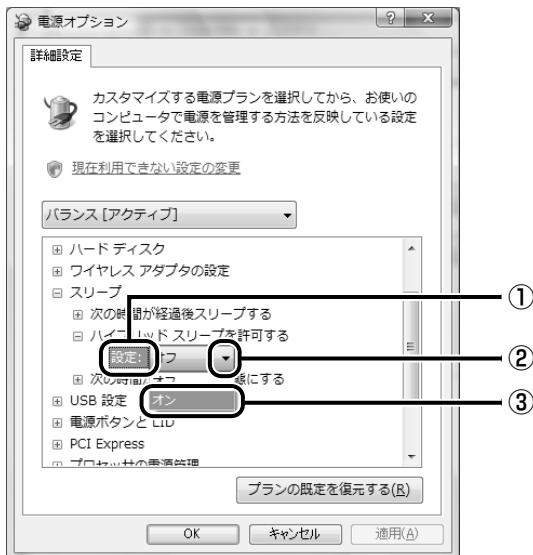
[詳細設定] 画面が表示されます。

5

## [スリープ] をダブルクリックし①、表示された項目から [ハイブリットスリープを許可する] をダブルクリックする②



## 6 [設定] をクリック①→ ▾ をクリック②→ [オン] をクリックする③



## 7 [OK] ボタンをクリックする

これでハイブリッドスリープを有効にする設定は完了です。

この状態でスリープを実行すると、ハイブリッドスリープとして機能します。

## 2 電源を切る

長時間パソコンを使わないときは、スリープではなく電源を切ってください。

間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失うおそれがあります。

## お願い

## 電源を切るときは

- 電源スイッチで電源を切らないでください。作業中に電源スイッチで電源を切ると、故障やデータ消失の原因になります。  
なお、システムの異常などで強制的に電源を切りたい場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けると電源が切れます。その際、作成中のデータは消失する可能性があります。
- 電源を切った後、もう一度電源を入れる場合は、5秒以上たってから入れてください。5秒以上経過していない場合は、誤動作することがあります。
- アプリケーションが起動しているときは、作業中のデータを保存し、アプリケーションを終了してから電源を切ってください。

## 参照 『各アプリケーションに付属の説明書』

- HDDアクセスランプ、ドライブのアクセスランプが消えていることを確認してください。
- 電源を切った後、本体を移動する場合は、30秒以上たってから移動してください。電源切断直後はハードディスクドライブ、ファンなどの駆動部分が完全に停止しません。電源切断直後の移動は機器の故障の原因となります。

電源を切るには、次のように操作してください。

### 1 [スタート] ボタンをクリックする



2

### 2 ▶ ボタンをクリックし①、表示されたメニューから [シャットダウン] をクリックする②



Windowsを終了したあと、パソコンの電源が自動的に切れます。

### 3 ディスプレイなどの、本体に接続している周辺機器の電源を切る

#### ■ 再起動

Windowsを終了したあと、すぐにもう1度起動することを「再起動」といいます。パソコンの設定を変えたときやパソコンがスムーズに動かなくなってしまったときなどに行います。再起動するには、次のように操作してください。

- ① [スタート] ボタン ( ) をクリックし、表示されたメニューから ▶ をクリックする
- ② 表示されたメニューから [再起動] をクリックする

## 1

## 省電力機能について

省電力機能とは、パソコンのシステム、ハードディスクドライブ、ディスプレイなどを省電力モードにして消費電力を抑制する機能です。

省電力モード中は、次の状態になります。

## お願い

- 省電力モードでも一定の電力を消費しています。長時間使用しない場合は、一度省電力状態を解除してから電源を切ってください。

省電力モード	本体の電源ランプ	システム／アプリケーション
システムがスリープのとき	緑色に点滅	停止する
ディスプレイが省電力モードのとき	緑色に点灯	停止しない
ハードディスクドライブが省電力モードのとき	緑色に点灯	停止しない
休止状態のとき	消灯	停止する

本製品にあらかじめインストールされているWindowsは、省電力機能を備えています。

設定されている情報に従って、省電力機能を作動させることができます。ここでは、本製品とWindowsの省電力機能について簡単に紹介します。

## 2

## 省電力モードについて

本製品にある省電力モードとその動作は次のとおりです。

## スリープ

本製品の消費電力を抑制します。通常モードへの復帰は、多少時間がかかります。また、ネットワークに接続していない場合は時間がかかることがあります。

スリープについては、「**2** 使い終わったら」もあわせてご覧ください。

スリープはBIOSセットアップの [Power Management Setup] の [ACPI Suspend Type] で、次のように設定を切り替えることができます。

- [S1 (POS)] (Power On Suspend) ...ハードディスクドライブ、ディスプレイ、USB 対応機器、PCI カード、PCI Expressカード、PC カード、i.LINK (IEEE1394) 対応機器などのデバイスの動作を停止します。
- [S3 (STR)] (Suspend To RAM) .....メモリ以外のほとんどのデバイスへの電源供給を停止します。



## メモ

- 工場出荷時は、BIOSセットアップの [Power Management Setup] の [ACPI Suspend Type] は [S3 (STR)] に設定されています。[S3 (STR)] の方が消費電力を抑えることができますが、接続しているUSB対応機器、PCIカード、PCI Expressカード、PCカード、i.LINK (IEEE1394) 対応機器によっては正常にスリープに移行しない、またはスリープから通常モードに復帰しない場合があります。動作に問題が生じる場合は、[ACPI Suspend Type] を [S1 (POS)] に切り替えてください。それでも動作に問題が生じる場合は、省電力機能を使用しない設定に変更してください。

参照 ➔ BIOSセットアップについて『取扱説明書』

## 3

## 休止状態

本製品の消費電力を最小限に抑制します。休止状態に移行する直前の状態をハードディスクに保存します。通常モードへ復帰するとき、休止状態に移行する直前の状態を再現します。通常モードへの復帰は、多少時間がかかります。

休止状態については、「**2 使い終わったら**」もあわせてご覧ください。

休止状態に移行させるには、あらかじめ設定が必要です。

## デバイスの動作について

システムが省電力モードに移行すると、デバイスの動作は次のようにになります。

ディスプレイ	画面表示が消えます。
ハードディスクドライブ	モータの回転を停止します。
LAN接続（ネットワークへの接続）	切断します。
USB対応機器	停止します。
PCIカード、PCI Expressカード、PCカード	動作を停止します。 (カードによっては本製品を再起動するなどして初期化が必要になります)
i.LINK (IEEE1394) 対応機器	停止します。



## メモ

- 3Dスクリーンセーバなど、比較的高い負荷でプロセッサを使用するスクリーンセーバを選択した場合、システムが使用中と判断されるため、「電源オプション」で設定した時間を経過しても省電力モードに移行しない場合があります。

## 3 省電力モードへの移行

設定された時間内にマウスまたはキーボードでの操作がない場合、自動的に省電力モードに移行します。

省電力モードに移行するまでの時間の設定方法は、次のとおりです。

### 1 システムの省電力モード

Windows Vistaの省電力モードには、スリープと休止状態があります。

#### スリープ

- 1 [コントロールパネル] を開き、[システムとメンテナンス] をクリックする
- 2 [電源オプション] のカテゴリの [コンピュータをスリープ状態にする時間の変更] をクリックする
- 3 [コンピュータをスリープ状態にする] で時間を選択する  
初期値は [15分後] です。  
スリープにしない場合は、[なし] を選択してください。
- 4 [変更の保存] ボタンをクリックする

3

省電力機能について

#### メモ

- システムをスリープにするとLAN接続は切断され、次の機器の動作は停止します。  
USB対応機器、PCIカード、PCI Expressカード、PCカード、i.LINK (IEEE1394) 対応機器

手動でシステムをスリープに移行させることもできます。

#### ● [スタート] メニューからの実行

- ① [スタート] ボタン ( ) → [電源] ボタン ( ) をクリックする
- 参照 「2 使い終わったら」

#### ● 電源スイッチを短く押す

電源スイッチを短く押すことによってスリープに移行することができます。

電源スイッチを4秒以上押すと電源が切れ、作成中のデータが消失するおそれがありますので、電源スイッチは短く押してください。

なお、この機能を有効にするには次のように設定されている必要があります。

- ① [コントロールパネル] を開き、[システムとメンテナンス] をクリックする
- ② [電源オプション] のカテゴリの [電源ボタンの動作の変更] をクリックする
- ③ [電源ボタンを押したときの動作] で [スリープ状態] を選択する  
初期値は [スリープ状態] です。
- ④ [変更の保存] ボタンをクリックする

## 休止状態

- 1 [コントロールパネル] を開き、[システムとメンテナンス] をクリックする
- 2 [電源オプション] のカテゴリの [コンピュータをスリープ状態にする時間の変更] をクリックする
- 3 [詳細な電源設定の変更] をクリックする
- 4 [詳細設定] タブで [スリープ] をダブルクリックし、表示された項目から [次の時間が経過後休止状態にする] をダブルクリックする
- 5 [設定] をクリックし、  で時間を設定する  
初期値は [なし] です。  
休止状態を使用しない場合は、[なし] を選択してください。
- 6 [OK] ボタンをクリックする

 メモ

- システムを休止状態にするとLAN接続は切断され、次の機器の動作は停止します。  
USB対応機器、PCIカード、PCI Expressカード、PCカード、i.LINK (IEEE1394) 対応機器

手動でシステムを休止状態に移行させることもできます。

## ● [スタート] メニューからの実行

- ① [スタート] ボタン ( ) をクリックする
- ②  ボタンをクリックし、表示されたメニューから [休止状態] をクリックする  
ハイブリッドスリープが有効に設定されている場合、メニューに [休止状態] が表示されないため、[スタート] メニューからは実行できません。

## ● 電源スイッチを短く押す

電源スイッチを短く押すことによって休止状態に移行することができます。

電源スイッチを4秒以上押すと電源が切れ、作成中のデータが消失するおそれがありますので、電源スイッチは短く押してください。

なお、この機能を有効にするには次のように設定されている必要があります。

- ① [コントロールパネル] を開き、[システムとメンテナンス] をクリックする
- ② [電源オプション] のカテゴリの [電源ボタンの動作の変更] をクリックする
- ③ [電源ボタンを押したときの動作] で [休止状態] を選択する  
初期値は [スリープ状態] です。
- ④ [変更の保存] ボタンをクリックする

## 2 ディスプレイの省電力モード

- 1 [コントロールパネル] を開き、[システムとメンテナンス] をクリックする
- 2 [電源オプション] のカテゴリの [コンピュータをスリープ状態にする時間の変更] をクリックする
- 3 [ディスプレイの電源を切る] で時間を選択する  
初期値は [なし] です。  
省電力モードを使用しない場合は、[なし] を選択してください。
- 4 [変更の保存] ボタンをクリックする

## 3 ハードディスクドライブの省電力モード

- 1 [コントロールパネル] を開き、[システムとメンテナンス] をクリックする
- 2 [電源オプション] のカテゴリの [コンピュータをスリープ状態にする時間の変更] をクリックする
- 3 [詳細な電源設定の変更] をクリックする
- 4 [詳細設定] タブで [ハードディスク] をダブルクリックし、表示された項目から [次の時間が経過後ハードディスクの電源を切る] をダブルクリックする
- 5 [設定] をクリックし、 で時間を設定する  
初期値は [なし] です。  
省電力モードを使用しない場合は、[なし] を選択してください。
- 6 [OK] ボタンをクリックする

## 4 省電力モードからの復帰

### 1 スリープからの復帰

システムのスリープから復帰するには、電源スイッチを短く押してください。



- BIOS セットアップの [Power Management Setup] の [ACPI Suspend Type] が [S1 (POS)] に設定されているときは、上記のほかに、キーボード入力するまたはマウスを動かすことによってスリープから復帰することもできます。
- EQUIUM S6300シリーズ、EQUIUM3410シリーズの場合 BIOS セットアップの [Power Management Setup] の [PS/2 KB Wake-Up From S3] が [Enabled] に設定されているときは、上記のほかに、キーボード入力することによってスリープから復帰することもできます。

### 2 休止状態からの復帰

休止状態から復帰するには、電源スイッチを押してください。



- EQUIUM S6300シリーズ、EQUIUM3410シリーズの場合 BIOS セットアップの [Power Management Setup] の [PS/2 KB Wake-Up From S4/S5] が [Enabled] に設定されているときは、上記のほかに、キーボード入力することによって休止状態から復帰することもできます。

### 3 ディスプレイの省電力モードからの復帰

ディスプレイの省電力モードから復帰するには、次の操作を行ってください。

- キーボード入力をする
- マウスを動かす

### 4 ハードディスクの省電力モードからの復帰

ハードディスクの省電力モードは、ハードディスクのファイルへアクセスすることで、自動的に省電力モードから復帰します。

## 1

## Windows Vistaでの操作について

## [ユーザー アカウント制御] について

操作の途中で [ユーザー アカウント制御] 画面が表示された場合は、そのメッセージを注意して読み、開始した操作の内容を確認してから、[続行] または [許可] ボタンをクリックしてください。

パスワードの入力を求められた場合は、管理者アカウントのパスワードで認証を行ってください。

## Windows標準のメールソフトについて

Windows標準のメールソフトは、Windows XPでは「Outlook Express」でしたが、Windows Vistaでは「Windows メール」です。

## ドメインに接続する

企業内など、ある1つにまとまつたネットワークをドメインと呼びます。

ここでは、本製品をドメインに接続する設定方法を説明します。

ドメインのユーザ名やパスワードなど、詳しい設定方法がわからない場合はネットワーク管理者に問い合わせてください。

本製品を複数のユーザで使用している場合はAdministratorと呼ばれる管理者のユーザに切り替えてから設定を行ってください。



## × モ ドメインの設定方法

- 操作の途中で [ユーザー アカウント制御] 画面が表示された場合は、管理者ユーザ権限でWindowsにログオンしていることを確認し、[続行] ボタンをクリックしてください。[続行] ボタンをクリックしないと、操作を続けることはできません。

4

Windows Vista モデルを使用するにあたって

- 1 [スタート] ボタン ( ) → [コントロールパネル] をクリックする
- 2 [システムとメンテナンス] をクリックする
- 3 [システム] をクリックする
- 4 [システムの詳細設定] をクリックする  
[システムのプロパティ] 画面が表示されます。
- 5 [コンピュータ名] タブで [変更] ボタンをクリックする
- 6 [ドメイン] の左にある をクリックしてから接続するドメインの名前を入力し、[OK] ボタンをクリックする
- 7 ドメインの [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[OK] ボタンをクリックする
- 8 [OK] ボタンをクリックする
- 9 [OK] ボタンをクリックする

パソコンを再起動してください。

## ■ CD/DVDをセットする前に

CD/DVDの種類によっては、取り出すときWindows Vistaが自動的にセッションを閉じてしまう場合があります。このとき、確認のメッセージなどは表示されません。

よく確認してからCD/DVDをセットしてください。

このWindows Vistaの機能を無効にするには、次のように操作してください。

- ① [スタート] ボタン ( ) → [コンピュータ] をクリックする
- ② ドライブのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックする  
[ドライブのプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [書き込み] タブで [共通の設定] ボタンをクリックする
- ④ [共通の設定] 画面で [ディスクの取り出し時のUDFセッションを自動的に閉じる] のチェックをはずし、[OK] ボタンをクリックする

## 2 本製品のアプリケーションについて

本製品のアプリケーションは、『取扱説明書』で紹介しているものと一部異なります。『取扱説明書』に記載されている次のアプリケーションは、本製品では使用できません。

- TOSHIBA Direct Disc Writer

また、システムやお使いのモデルのソフトウェア環境によっては、この他にも『取扱説明書』に記載された内容とは、一部動作が異なる場合があります。

## 3 製品仕様について

本製品の製品仕様は、『取扱説明書』で説明しているものと一部異なります。ここでは、『取扱説明書』に記載された内容と異なる部分について説明します。

- ハードディスクドライブが1台搭載されているモデルでは、全領域がCドライブ（NTFS）に設定されています。
- SDHCメモリカード（4GBのメディアまで）が使用できます（EQUIUM S6300シリーズ、EQUIUM5180シリーズのみ）。
- スリープから復帰するとき、工場出荷時の設定ではキーボード入力で復帰することはできません。

**参照** キーボード入力で復帰するには「3-4 省電力モードからの復帰」

- ビデオRAM容量は、パソコンのシステムメモリ容量に依存します。

リカバリ（再セットアップ）とは、お客様が作成したデータや、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などをすべて削除し、もう1度ご購入時の状態に復元する作業です。ここでは、本製品でのリカバリ手順について説明します。

リカバリをする前に確認することや、しておくことが『取扱説明書』に記載されていますので、作業を始める前に必ず読んでください。

## 1

## リカバリをする

### 必要なもの

次のものを使用します。

5

リカバリをする

- リカバリCD-ROM
- 取扱説明書
- セットアップガイド Windows Vista（本書）

Office搭載モデルの場合、Office Personal 2007は、システムの復元後、さらに付属のCD-ROMで再インストールする必要があります。

参照 ➔ 詳細について『取扱説明書』

### 操作手順

#### お願い

- 復元する際にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。  
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行ってください。
- BIOS セットアップの [Advanced BIOS Features] で [First Boot Device]、[Second Boot Device]、[Third Boot Device] の設定がご購入時の状態と異なる場合、リカバリCD-ROMから起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、リカバリを行ってください。

参照 ➔ BIOS セットアップについて『取扱説明書』

 × モ

- ハードディスクをフォーマットしたり、システムファイルを削除した場合や電源を入れてもシステムが起動しない場合は、データを保存することができません。リカバリを行っても、ハードディスクに保存されていたデータは復元できません。
- ハードディスクドライブが1台搭載されているモデルでは、どのメニューを選択しても、Cドライブには購入時と同じシステムが復元されます。
- ハードディスクドライブが2台搭載されているモデルでは、どのメニューを選択しても、1台目のハードディスク (HDD1) のCドライブには購入時と同じシステムが復元され、2台目のハードディスク (HDD2) に保存されたデータや設定などは残ります。
- ハードディスクドライブが2台搭載されているモデルでは、内蔵されているハードディスク2台のうち、購入時の状態で最初に起動するように設定されているハードディスク (HDD1) だけにリカバリが実行されます。起動ドライブを2台目のハードディスク (HDD2) に変更している場合も、HDD1に対してリカバリが実行され、以降の起動ドライブもHDD1に戻ります。

**1** パソコンをご購入時の状態に戻す

増設メモリ、取り付けた拡張カード類、周辺機器などはすべて取りはずし、フロッピーディスクドライブや各スロットからメディアを取り出してください。

**2** 「リカバリCD-ROM」をセットして、パソコンの電源を切る

リカバリCD-ROMが複数枚ある場合は、「ディスク1」からセットしてください。

**3** パソコンを再起動する

〔復元方法の選択〕画面が表示されます。

**4** [TOSHIBA Recovery Wizard] をチェックし①、〔次へ〕ボタンをクリックする②


〔システム回復オプション〕には、パソコンを使用するうえでのさまざまなトラブルやデータ保護に対応したメニューが用意されています。

**参照** 詳細について「本節 **2** システム回復オプションについて」

メッセージ画面が表示されます。

5

リカバリをする

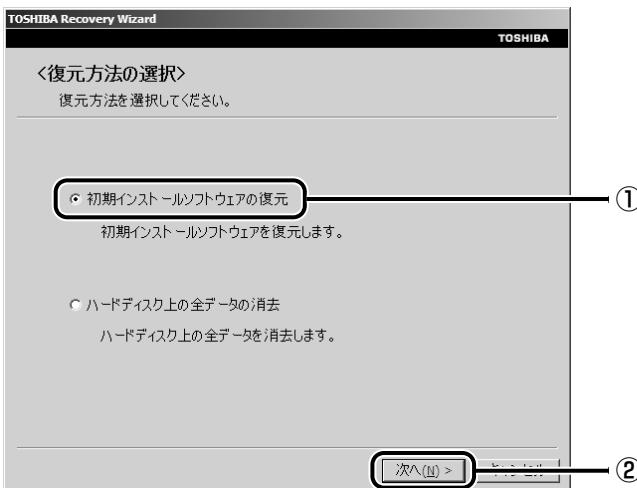
5

リカバリをする

## 5 画面の内容を確認し、【はい】ボタンをクリックする

2枚目の【復元方法の選択】画面が表示されます。

## 6 【初期インストールソフトウェアの復元】をチェックし①、【次へ】ボタンをクリックする②

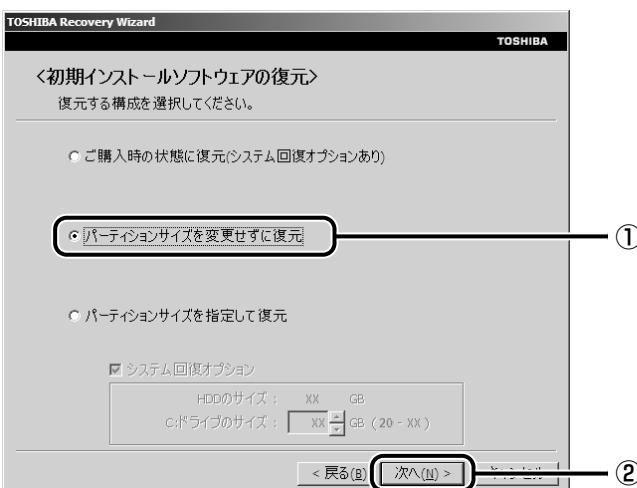


【ハードディスク上の全データの消去】は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、ハードディスクのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、ハードディスク上にある、すべてのデータが削除されます。

参照 ➔ ハードディスクの消去について「6 ハードディスクの内容の消去」

## 7 【パーティションサイズを変更せずに復元】をチェックし①、【次へ】ボタンをクリックする②

ここでは「パーティションサイズを変更せずに復元」する方法を例にしています。



[パーティションサイズを変更せずに復元] を選択した場合の意味と動作は、次のとおりです。

#### ● [パーティションサイズを変更せずに復元] (推奨)

「パーティションサイズを指定して復元」を使って、すでにハードディスクの領域を分割している場合などに使用します。Cドライブがリカバリされ、それ以外の領域のデータはそのまま残ります。

[次へ] ボタンをクリックすると、「先頭パーティションのデータは、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

他のメニューを選択した場合の意味と動作は、次のとおりです。

#### ● ご購入時の状態に復元 (システム回復オプションあり)

パソコンを購入したときの状態に戻します。設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

[次へ] ボタンをクリックすると、「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

#### ● パーティションサイズを指定して復元

ハードディスク (Cドライブ) のサイズを変更します。

Cドライブ以外の領域区分 (パーティション) は消去され、1つの領域になります。その領域は「ディスクの管理」から再設定を行うと、再びドライブとして使用できるようになります。

[システム回復オプション] のチェックをはずしてリカバリを行うと、システム回復オプション領域は消去されます。その領域も、「ディスクの管理」から設定するとドライブとして使用できます。

**参照** ディスクの管理「本節 3- パーティションを設定してリカバリをした場合は」

作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

- ① [システム回復オプション] にチェックをする、またはチェックをはずす
  - ② [C: ドライブのサイズ] で をクリックしてパーティション (Cドライブ) のサイズを指定する
  - ③ [次へ] ボタンをクリックする
- [次へ] ボタンをクリックすると、「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

#### メモ

- [ご購入時の状態に復元 (システム回復オプションあり)] と [パーティションサイズを変更せずに復元] は、システム回復オプションの領域が確保されているため、ハードディスクの100%を使用することができません。

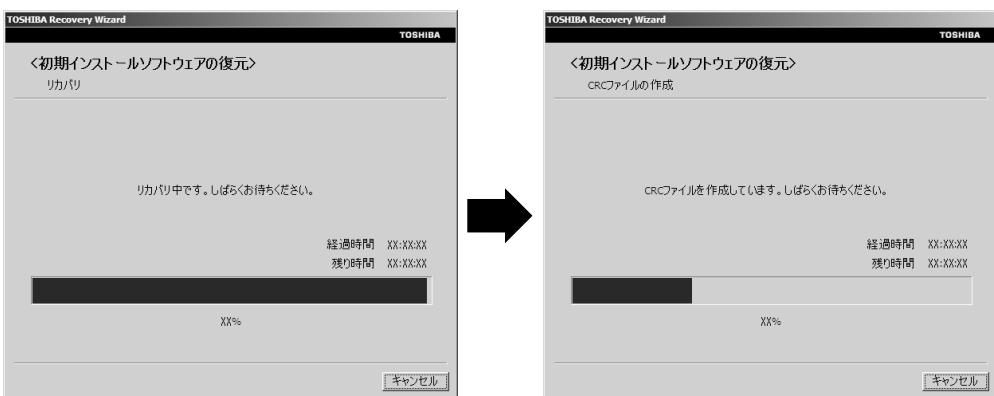
## 8 [次へ] ボタンをクリックする

処理を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

[次へ] ボタンをクリックすると、復元が実行され、[パーティションを初期化しています。しばらくお待ちください。] 画面が表示されます。



長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。復元中は、次の画面が表示されます。リカバリの経過に従い、画面が変わります。



\* 最初に [コピーしています。] 画面が表示される場合があります。長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

リカバリCD-ROMが複数枚ある場合は、ディスクを入れ替えるメッセージが表示され、自動的にディスクトレイが開きます。ディスクの番号順に入れ替え、[OK] ボタンをクリックしてください。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

EQUIUM5180シリーズのCD-ROM/HDD1基搭載モデルまたはEQUIUM3410シリーズのCD-ROMモデルの場合、手順 9 で [終了] ボタンをクリックする前に、ドライブのイジェクトボタンを押してディスクを取り出してください。

**9** [終了] ボタンをクリックする

自動的にディスクトレイが開きます。

**10** ディスクを取り出す

システムが再起動し、[Windowsのセットアップ] 画面が表示されます。

**11** Windowsのセットアップを行う

参照 ➔ 詳細について「**1** Windowsのセットアップ」



- 一部のアプリケーションは、リカバリ後にアプリケーションのインストールをする必要があります。

参照 ➔ 詳細について『取扱説明書』

5

リカバリをする

購入後に変更した設定がある場合は、Windowsのセットアップ後に、もう1度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、購入後に追加したアプリケーションのインストールも、Windowsのセットアップ後に行ってください。

参照 ➔ 周辺機器の接続 『取扱説明書』

**2** システム回復オプションについて

本製品には、「システム回復オプション」がインストールされています。「システム回復オプション」とは、Windowsが正常に起動しなくなった場合に、問題を解決して起動できるようにするメニューが集まったものです。

**1** 電源を入れる**2** [TOSHIBA] 画面が消えた直後に、**F8**キーを数回連打する

しばらくすると「詳細ブートオプション」が表示されます。

**F8**キーを押すタイミングにより、「詳細ブートオプション」が表示されない場合があります。その場合は、再度電源を入れ直して手順**2**を実行してください。

ユーザーパスワードを設定している場合は、パスワード入力画面が表示されます。ユーザーパスワードを入力して**Enter**キーを押してください。

「詳細ブートオプション」が表示されます。

**3** [コンピュータの修復] を選択し、**Enter**キーを押す

キーボードの選択画面が表示されます。

4

[日本語] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする

ログオン画面が表示されます。

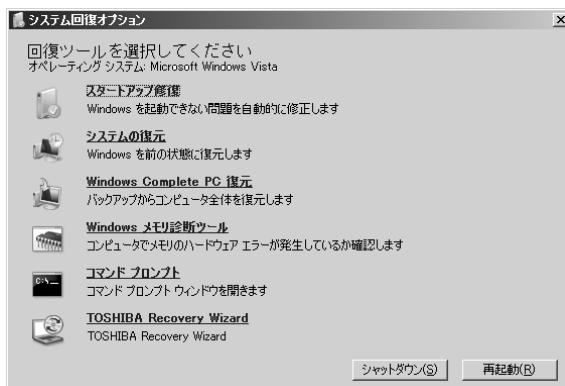
5

ユーザ名を選択し、Windowsログオンパスワードを入力する

6

[OK] ボタンをクリックする

「システム回復オプション」が起動します。



- **スタートアップ修復**

システムファイルの不足や破損など、Windowsの正常な起動を妨げる可能性のある問題を解決し、正常に起動できるようにします。

- **システムの復元**

システムファイルを正常に機能していた日時の状態に復元することができます。

- **Windows Complete PC 復元**

Windows Complete PCバックアップイメージからコンピュータを復元します。

- **Windows メモリ診断ツール**

メモリが正常に機能しているかどうかを確認します。

- **コマンドプロンプト**

コマンドプロンプトに切り替えます。

- **TOSHIBA Recovery Wizard**

リカバリ（再セットアップ）メニューを表示します。

7

使いたいメニュー名をクリックする

この後の操作は、メニューによって異なります。表示された画面の指示に従って操作してください。



## メモ システム回復オプション領域を削除してしまったときは

- リカバリをした際、[パーティションサイズを指定して復元] を選択し、[システム回復オプション] のチェックをはずした場合は、この手順では「システム回復オプション」を起動できません。次の手順で起動してください。

①「リカバリCD-ROM」をセットして、パソコンの電源を切る

リカバリCD-ROMが複数枚ある場合は、「ディスク1」からセットしてください。

②パソコンを再起動する

ユーザーパスワードを設定している場合は、パスワード入力画面が表示されます。ユーザーパスワードを入力して[Enter]キーを押してください。

[復元方法の選択] 画面が表示されます。

③ [システム回復オプション] をチェックし①、[次へ] ボタンをクリックする②



キーボードの選択画面が表示されます。

④「日本語」を選択し、[次へ] ボタンをクリックする

オペレーティングシステム選択画面が表示されます。

⑤「Microsoft Windows Vista」を選択し、[次へ] ボタンをクリックする

「システム回復オプション」が起動します。

## 3 Windowsセットアップの後は

### パーティションを設定してリカバリをした場合は

パーティションの設定を変更してリカバリをした場合は、リカバリ後すみやかに次の設定を行ってください。

5

リカバリをする

- 1 コンピュータの管理者になっているユーザーアカウントでログオンする
- 2 [スタート] ボタン ( ) → [コントロールパネル] をクリックする
- 3 [システムとメンテナンス] → [管理ツール] をクリックする
- 4 [コンピュータの管理] をダブルクリックする
- 5 左画面の [ディスクの管理] をクリックする  
設定していないパーティションは [未割り当て] と表示されます。
- 6 [ディスク0] の [未割り当て] の領域を右クリックする
- 7 表示されるメニューから [新しいシンプル ボリューム] をクリックする  
[新しいシンプル ボリューム ウィザード] が起動します。
- 8 [次へ] ボタンをクリックし、ウィザードに従って設定する  
次の項目を設定します。
  - ・ボリュームサイズの指定
  - ・ドライブ文字またはパスの割り当て
  - ・パーティションのフォーマット
    - ・ファイルシステム
    - ・アロケーションユニットサイズ
    - ・ボリュームラベル
- 9 設定内容を確認し、[完了] ボタンをクリックする  
フォーマットが開始されます。  
パーティションの状態が [正常] と表示されれば完了です。  
詳細については「コンピュータの管理」のヘルプを参照してください。

#### ■ヘルプの起動■

- ① メニューバーから [ヘルプ] → [トピックの検索] をクリックする

パソコン本体を廃棄、または譲渡する際のハードディスクの消去方法について説明します。パソコン本体の廃棄方法や、ハードディスク上のデータ消去の重要性などは、『取扱説明書』に記載されていますので、必ず読んでください。

## 1 ハードディスクの内容をすべて消去する

パソコン上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。

なお、ハードディスクに保存されている、これまでに作成したデータやプログラムなどはすべて消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。

### 操作手順

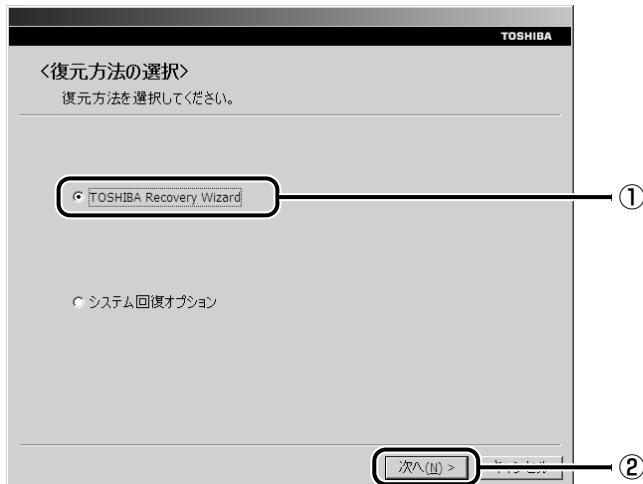
#### 1 「リカバリCD-ROM」をセットして、パソコンの電源を切る

リカバリCD-ROMが複数枚ある場合は、「ディスク1」をセットしてください。

#### 2 パソコンを再起動する

[復元方法の選択] 画面が表示されます。

#### 3 [TOSHIBA Recovery Wizard] をチェックし①、[次へ] ボタンをクリックする②



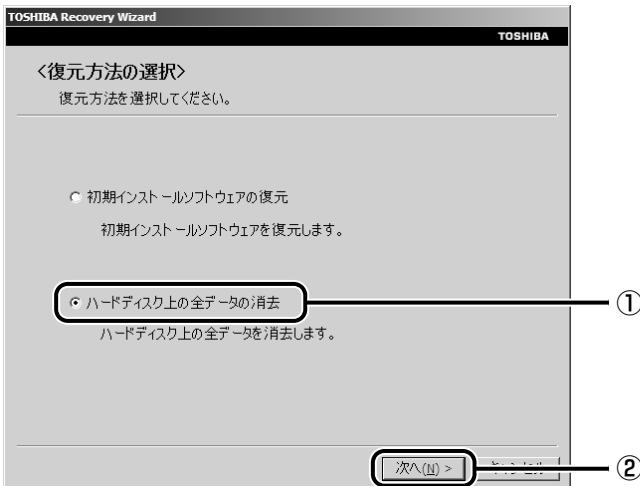
[システム回復オプション] には、パソコンを使用するうえでのさまざまなトラブルやデータ保護に対応したメニューが用意されています。詳細は「5-2 システム回復オプションについて」を参照してください。

メッセージ画面が表示されます。

## 4 画面の内容を確認し、[はい] ボタンをクリックする

[復元方法の選択] 画面が表示されます。

## 5 [ハードディスク上の全データの消去] をチェックし①、[次へ] ボタンをクリックする②

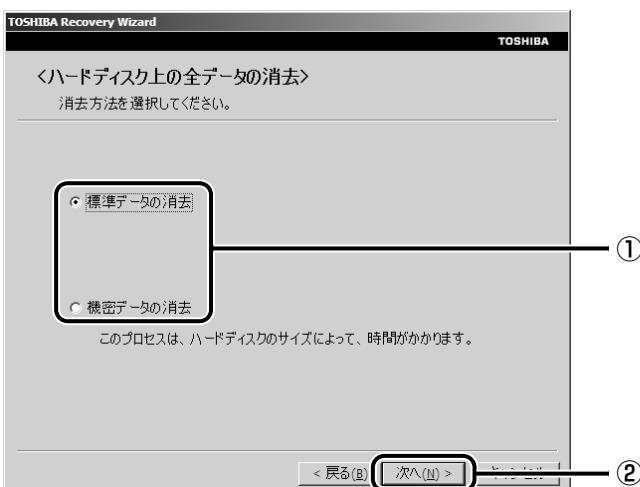


6

消去方法を選択する画面が表示されます。

## 6 目的に合わせて、[標準データの消去] または [機密データの消去] をチェックし①、[次へ] ボタンをクリックする②

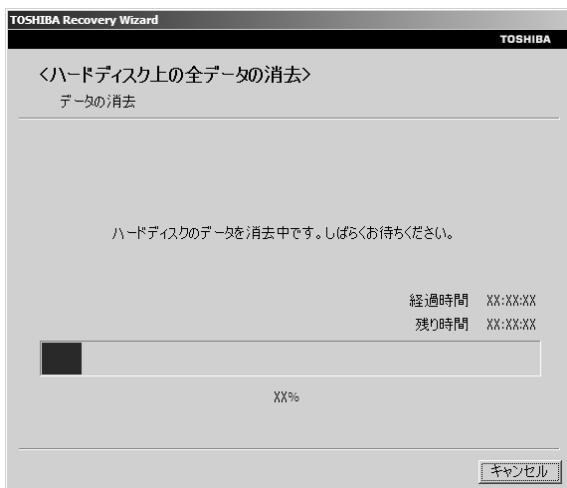
通常は [標準データの消去] を選択してください。データを読み取れなくなります。より確実にデータを消去するためには、[機密データの消去] を選択してください。数時間かかりますが、データは消去されます。



[ハードディスクの内容は、すべて消去されます。] 画面が表示されます。

## 7 [次へ] ボタンをクリックする

処理を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。  
 [次へ] ボタンをクリックすると、消去が実行されます。  
 消去中は、次の画面が表示されます。



消去が完了すると、終了画面が表示されます。

## 8 [終了] ボタンをクリックする

自動的にディスクトレイが開きます。リカバリCD-ROMを取り出してください。

本製品のBIOSセットアップは、『取扱説明書』で説明しているものと一部異なります。ここでは、『取扱説明書』に記載された内容と異なる部分について説明しています。

## 1

# EQUIUM S6300シリーズについて

## ■ Power Management Setup

次の項目が追加になります。

### □ PS/2 KB Wake-Up From S3

PS/2キーボードの操作によって、省電力モード（S3(STR)）から復帰することを可能にするかどうかを設定します。

- Disabled ..... 可能にしない
- Enabled ..... 可能にする

工場出荷時の設定は、「Disabled」です。

## 7

# BIOSセットアップについて

## ■ Security Chip Configuration

項目や工場出荷時の設定が次のようになります。

### □ TPM Control

内蔵セキュリティコントローラチップ（TPM）を有効にするかどうかの設定をします。

- Enabled ..... TPMを有効にする
- Disabled ..... TPMを有効にしない

工場出荷時の設定は「Disabled」です。

### □ Clear Security Chip

[TPM Control] を [Enabled] に設定した場合のみ、設定できます。

所有者登録とユーザ登録を削除します。

本製品を廃棄するときや、譲渡などにより使用者（管理者）を変更するというように、TPMの使用を中止する場合に行ってください。

① カーソルバーを [Clear Security Chip] の [Enter] に合わせ、**Enter**キーを押す  
メッセージが表示されます。

② [YES] を選択し、**Enter**キーを押す  
メッセージが表示されます。

③ [YES] を選択し、**Enter**キーを押す  
再起動し、所有者登録とユーザ登録が削除されます。

### □ Security Chip State

「Disabled/Deactivated」と表示されます（表示のみ）。

## お願い

- 所有者登録とユーザ登録を削除すると、TPMに関するセキュリティ機能が使用できなくなります。このため、管理者の権限を持たないユーザが「Security Chip Configuration」を操作できないように管理者用パスワードを設定することをおすすめします。

**参照** 設定方法について『取扱説明書』

- 所有者登録とユーザ登録を削除した後に、TPMの使用を再開する場合は、もう一度TPMへ所有者登録やユーザ登録を行う必要があります。

## 2

## EQUIUM 3410シリーズについて

## Advanced Chipset Features

 DVMT/FIXED Memory Size

選択値「MAX.」が追加になります。

工場出荷時の設定は「128MB」です。

メインメモリからビデオメモリとして確保する最大サイズを指定します。

- 128MB
- 256MB ..... メインメモリが256MB以下の構成では表示されません。
- MAX. ..... メインメモリが512MB以下の構成では表示されません。



- ビデオRAM容量はパソコンのシステムメモリ容量に依存するため、「DVMT/FIXED Memory Size」の設定は有効になりません。

7

BIOSセットアップについて

## Power Management Setup

次の項目が追加になります。

 PS/2 KB Wake-Up From S3

PS/2キーボードの操作によって、省電力モード（S3(STR)）から復帰することを可能にするかどうかを設定します。

- Disabled ..... 可能にしない
- Enabled ..... 可能にする

工場出荷時の設定は、「Disabled」です。

## **<MEMO>**

## **<MEMO>**

